

血管年齢って 測ったことありますか？

血管年齢という言葉、最近 TV でもよく耳にしますね。血管年齢とは現在の血管の状態を年齢で表現したものです。

血管壁が硬くなったり、狭くなっている状態を動脈硬化といい、動脈硬化が進行すると、日本人の三大死因といわれる心疾患・脳血管疾患を引き起こす危険性が高まります。つまり、血管年齢を知るということは、血管の老化具合を知るということでもあるのです。

先日、FP保険の相談所 垂水駅前店にて血管年齢測定を行いました。性別・年齢を入力し、センサーに指を乗せて十数秒という短時間で測定できるので、2 日間で 100 名を超えるお客さまにお越しいただきました。生活習慣の振り返りの機会としていただけたことをうれしく思います。

好評のため、また実施させていただく予定です。で、今回測定されなかった方も是非お越しください。また、心臓や脳の病気の【もしも】に備える保険も、色々なタイプがありますので、お気軽にご相談ください。

FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間 : 10 : 00 ~ 19 : 00 9 : 30 ~ 17 : 30

ホームページ: 右のQRコード から または
ライフプロモーション で検索



〈取扱保険会社〉

メットライフ生命 オリックス生命 アフラック

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命 FWD富士生命

三井住友海上あいおい生命 東京海上日動あんしん生命

ジブラルタ生命 NN生命 三井住友海上火災 ソニー損保

FP保険通信

NO. 38 2017. 10 発行

活用していますか？

「生命保険料控除」

この時期、みなさまがご加入されている保険会社から「生命保険料控除のお知らせ」が届いていると思います。

年末調整や確定申告に使うことで、所得税・住民税を軽減することが出来ます。

平成 24 年に制度改正があって以降は、新旧制度が混在しているため記入欄が複雑になってしまい、わかりづらくなっています。

当店では、記入のアドバイスはもちろん、どのようにすれば控除枠を有効に使うことが出来るのかなどのアドバイスも行っています。

ぜひ、この機会に生命保険料控除のお知らせか保険証券をお持ちいただいて
節税対策を考えられては
いかがでしょうか？



2018 年 1 月から

自動車保険

保険料値下げ

来年 1 月より、大手損害保険会社の「自動車保険」の保険料が平均 2~3%引き下げ※になります。これは、車の安全性能が向上して事故が減ってきていることによるもので、各社とも、AEB（衝突被害軽減ブレーキ）を装着した車（所定の条件あり）については 9%の割引を実施するようですが、その他の補償内容や特約保険料の見直しなど、保険会社によって改定内容には違いがあります。補償のどこがどう変わるのか、変更点をしっかり確認しましょう。

また、今まで保険料の都合で付帯しなかった補償などは
ありませんか？

保険料が安くなった分、
補償を手厚くすることを
検討してみるのもいいかも
しれませんね。



※すべての方の保険料が下がるわけではありません。記名被保険者の年齢や補償内容などによっては、保険料が高くなる場合もあります。

保険には加入しているけど、どういう補償なのかよくわからないという方、「保険証券」もしくは「更新のお知らせ」などをお持ちください。私たちが一緒に確認いたします。